

歴史民俗資料館だより 平成 27 年(2015)年度

～ No. 17 ～ 3 月号 ～

積もった雪も融けてきた軽井沢です。

下記の写真は資料館近くを写したのですが、雪の積もった様子(BEFORE)と融けた様子(AFTER)です。

BEFORE 2 月 1 日撮影



↑こんなにあった雪が、↓きれいに融けました～！

AFTER 2 月 26 日撮影



まだまだ寒いですが、少しずつ春が近付いているようです。

さて、先月、資料館では、消防訓練を行いました。災害時の対応について消防署員の方から具体的に指導していただき、職員の体制についても再確認できました。

～ No. 16 ～ 2月号 ～

寒さが厳しくなり、一面銀世界の軽井沢です。

さて、年明けの資料館にもたくさんの小学生が見学に来てくれました！昔の暮らしについて学ぶ3年生達は、寒さに負けず元気いっぱい！一生懸命説明を聞いてメモを取る姿はやる気に溢れていて、質問もたくさんしてくれました。少しだけメモを見せてもらおうと、みんな絵がとても上手で、細かい描写に驚きました。

小学生の中で毎回人気が高いのが囲炉裏コーナーですが、帰る時間になっても「まだ帰りたくない」「こういう所で暮らしてみたい」と言う子も多く、昔の暮らしは子供達にとっては逆に新鮮なのだなと感じます。

閉館中でも10人以上の予約で見学を受け付けていますので、ぜひご連絡下さい。



～ No. 15 ～ 2016 年 1 月号 ～

新年明けましておめでとうございます。

平成 28 年度の資料館は 4 月 1 日(金)から開館いたします。

今年もよろしくお願いいたします。

さて、今シーズンの軽井沢冬は、11 月末に雪が降って以来、積雪がありません。寒さもまだまだ例年並みとはならず、暖かな冬となっています。

今月は小学生が社会科見学に来る予定があります。冬季閉館中でも、平日 10 人以上で見学を受け付けていますので、お問い合わせください。

～ No. 14 ～ 12 月号 ～

11 月末からぐっと寒くなり、今シーズン初めての積雪もあった軽井沢です。

先月は、小学生の社会科見学があり、今年も三年生の子供たちが来てくれました！みんな説明内容を熱心にメモしていて、中にはメモ欄が無くなってしまった子もいました。また、持ってきた昔の道具についてのチェックリストを見ながら、道具を見つけるとチェック・チェック・チェック！そのやる気に驚かされました！

そしてもう一点、驚いたのが、フィルムカメラを知らない子がほとんどだったことです。考えてみれば、三年生の子供たちにとっては、生まれた時からデジタルカメラが普及していたのですね。「時代の変化」というものを肌で感じました。

見学後、子供たちからは「昔の道具が見られて楽しかった」「昔のことについて興味がわいた」「また行って自分で調べてみたい」といった感想が聞けてました。歴史に興味を持ってもらう機会となったようで、良かったです！

～ No. 13 ～ 11 月号 ～

例年より早く始まった紅葉がもう終盤の軽井沢です。

さて、先月末、町の姉妹都市カナダのウィスラーから派遣交流の中学生が来日し、今年も資料館に来てくれました。短い時間ではありましたが、館内の展示を熱心に見学し、時々「はい」と日本語で返事をしてくれる子もいました！今年から設置した「縄文土器に触れてみよう」コーナーも喜んでもらえた様子で、見学後には日本語でわざわざ「ありがとうございました」と言いに来てくれました。

日本や軽井沢の歴史について、少しでも思い出に残ってくれたら嬉しい限りです。



～ No. 12 ～ 10 月号 ～

大混雑だったシルバーウィークを終え、いよいよ 10 月です。

そのシルバーウィーク初日の 19 日(土)に、資料館では沓掛宿散策を開催しました。(沓掛宿は、今の中軽井沢駅の北側、18 号沿いにありました)

資料館を出発し、中山道を歩いて、江戸より 19 番目の沓掛宿へ！本陣や脇本陣の場所を確かめながら、秋晴れの中を散策してきました。

時代の移り変わりにより、今では江戸時代の面影を探すのはちょっと大変な沓掛宿周辺ですが、通る時には「ここには荷物を乗せた馬や看板娘のいる茶屋があって、お殿さまも泊っていたんだな～」と想像してみてください！

～ No.11 ～ 9 月号 ～

真夏の暑さも落ち着き、秋の気配を感じる軽井沢です。敷地内には既に栗が落ちています！

資料館では、8 月 30 日に文化講座を開催しました。毎年夏に開催していますが、今年は、長野県短期大学学長の上條宏之先生に「長野県の満州移民はどのようなものであったか」のテーマでお話していただきました。昭和 20(1945)年の終戦までに、中国大陸の満州へ渡った開拓団民数が全国一位であった長野県。その背景や理由などについてとても分かりやすく説明していただきました。質疑応答では、参加者からの質問も相次ぎ、戦後 70 年を迎えた今、戦争の悲惨さや平和の尊さについて改めて考える機会となった講演でした。



～ No. 10 ～ 8 月号 ～

8 月に入り、軽井沢も連日賑わっています。

さて、今回は、夏休みに役立つ入館券の紹介をします。

資料館では、大人 1 人 400 円(小中高生 200 円)の当日券と、大人 1 人 600 円(小中高生 300 円)の 6 館共通券の 2 種類を販売しています。400 円の当日券では、資料館と、徒歩 3 分程のところにある市村記念館も見学できます。

6 館共通券は、購入日から一ヶ月間有効で、町内の文化施設 6 カ所((1)旧三笠ホテル (2)歴史民俗資料館 (3)市村記念館 (4)追分宿郷土館 (5)堀辰雄文学記念館 (6)旧軽井沢駅舎記念館)を見学できます。('文化施設 6 館共通券販売中'のページも併せてご覧ください。)

また、この 6 館共通券には含まれませんが、植物園でも展示を行っています。

暑さの中にもさわやかな風を感じられる軽井沢へ、歴史や自然を学びにぜひお越しください！

～No. 9 ～ 7 月号 ～

あつという間に下半期突入、いよいよ夏です！

夏の軽井沢は、様々な企画が盛りだくさんです。追分にある追分宿郷土館、堀辰雄文学記念館、塩沢にある植物園の各館でも、企画展を開催します。資料館では、7月18日(土)から、企画展「旅の持ちモノー今・昔ー」を開催します。徒歩で旅に出かけていた時代、人々はどのようなものを持って出かけていたのでしょうか？また、現代の私達が旅に出かける時に持つものとはどんな違いがあるのでしょうか・・・展示で紹介します。

「旅の持ちモノー今・昔ー」

徒歩での旅の時代と比べると、現代の旅は、新幹線をはじめとした乗り物や、携帯電話などの持ち物の多様化により、大きく変化してきました。

今回の展示では、持ちモノや服装にスポットを当て、その変化を紹介します。

・期間 7月18日(土)～10月12日(月・祝)

～No. 8 ～ 6 月号 ～

6月を迎え、町内の新緑がまぶしくなってきました。

資料館から新緑の中を3分ほど歩いたところに資料館分室市村記念館がありますが、この季節は自然の中を気持ちよく歩けます。ぜひ市村記念館にも足を運んでみてください！

さて、先月、資料館では小学生を対象とした盆栽づくり講座を開催しました。浅間山から噴出した焼け石を盆栽の器に加工し、植物を入れて完成させるのですが、参加者の皆さんそれぞれが素敵な作品を作り上げていました。



お疲れ様でした！

～ No. 7 ～ 5 月号 ～

5 月となり、軽井沢もすっかり春になりました。

先月末に町内の桜が咲き始めたのと同じころ、資料館近くにイノシシが出没しました。動物達もこの暖かさに誘われたのでしょうか？自然豊かな資料館ならではの出来事です。

さて、今日はそんな自然豊かな資料館に住む動物達を少しだけ紹介します！



(1)強そうです→



(2)シッポが長い→



(3)すらっとした足→

何の動物かは来館してのお楽しみということで、来館した際には上記の動物以外にも、他の動物(馬と牛)に関する展示も探してみてください！

また、子供向けキャプションの設置も始めました！軽井沢町のキャラクターであるルイザちゃんが分かりやすく説明しています。

自然豊かな資料館に、ぜひご来館下さい！お待ちしております。

～ No. 6 ～4月号～

いよいよ4月となり、資料館も今日から開館です。

今年度、資料館では新たなコーナーを設置しました。その名も「縄文土器に触れてみよう！」コーナーです。町内の遺跡から発掘された遺物を、素手で触れます。いつもガラスケース越しに見るだけだった土器のカケラを触り、むかしむかしの人々の暮らしをちょっとだけ感じてみて下さい。

※縄文時代の人々の空気を感じた後に、土器のカケラのお持ち帰りはできません。

